

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード		311		施策		生きがいづくりと社会参加の促進				
管理事業		高齢者生きがい事業			所管部局		福祉部			
1	所管室課	高齢福祉室			事業名		シルバーワークプラザ管理事業			
事業概要										
シルバーワークプラザ管理、シルバー人材センター補助										
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点				
シルバーワークプラザの管理運営とともに、高齢者の就業機会の増大等の推進を目的に、生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対し、臨時的・短期的な仕事を提供するシルバー人材センターへの補助を実施。 ・シルバー人材センター会員数： 1,983人（令和6年3月31日現在） 1,962人（令和7年3月31日現在） 1,969人（令和8年3月31日現在）		決算額（千円）	51,677	18,116	18,998	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割				
		一般財源の比率（%）	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容				
		当該団体の事業が高齢者の就業・社会参加の促進、生きがいの充実、市の施策に寄与しているため、市として補助を行っている。 第9期吹田健やか年輪プランで、令和7年度のシルバー人材センター会員目標数を2,020人としていたが、実際の会員数は1,969人であり、目標に達していない。				継続				

2	所管室課	高齢福祉室			事業名		ふれあい交流サロン補助事業			
事業概要										
ふれあい交流サロン補助										
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点				
高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団体に補助金を交付した。 ・ふれあい交流サロン事業運営団体数： 12団体（令和5年度） 12団体（令和6年度） 12団体（令和7年度） ・延べ利用者数： 41,193人（うち介護予防取組利用者：8,519人）（令和5年度） 46,039人（うち介護予防取組利用者：12,592人）（令和6年度） 48,607人（うち介護予防取組利用者：14,638人）（令和7年度）		決算額（千円）	4,350	3,600	3,780	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割				
		一般財源の比率（%）	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容				
		高齢者から乳幼児までの市民が気軽に利用することで世代間交流の場となり、高齢者が集う場として閉じこもり対策に寄与している。 令和6年度末に1箇所閉所したものの、令和7年度に新規運営団体の募集を行い、設置目標数の12箇所については達成しているが、引き続き、各サロンを気軽に利用いただける取組を支援していく。				継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
高齢福祉室	吹三地区高齢者いきいの間整備事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和7年度
--------	-------

施策コード	311	施策	生きがいくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

3	所管 室課	高齢福祉室	事業名	敬老事業			
事業概要							
地区敬老行事開催、長寿祝賀							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
（１）地区敬老行事開催 ・75歳以上の高齢者を対象に、地区敬老行事を開催する各地区敬老行事運営委員会に対し補助金を交付した。 補助金交付団体数：28団体（令和５年度）、28団体（令和６年度）、26団体（令和７年度） 参加者数：36,310人（令和５年度）、38,499人（令和６年度）、34,169人（令和７年度） （２）長寿祝賀 ・令和７年９月15日現在で市内に居住する令和７年４月～令和８年３月に100歳となる高齢者に祝金及び祝状を贈呈した。 祝金贈呈者数：117名（令和５年度）、86人（令和６年度）、95人（令和７年度） ・本市に居住する当該年中に結婚50年を迎える夫婦（金婚夫婦）に祝状を贈呈。 祝状贈呈組数：115組（令和５年度）、107組（令和６年度）、98組（令和７年度）			決算額 (千円)	49,324	49,795	49,768	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.8	99.9	99.8	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			当該事業の対象者数は今後も増大し、それに伴い事業費が拡大していく見込みである。長寿祝賀については、令和３年度から対象者を100歳の方のみとし、寿祝品贈呈と統合し再構築を行ったが、地区敬老行事開催については、対象者が年々増加していることなどにより運営団体の負担が増加している。今後、社会情勢に見合った事業の見直しを進めていく必要がある。				継続

4	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いきいの家管理事業		
事業概要						
高齢者いきいの家管理（指定管理者施設管理）						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者の相互交流と社会参加を促進するとともに、福祉の増進を図るために設置している当該施設の管理運営を実施。令和2年度より指定管理者制度を導入。 ・令和5年度決算額内訳 合計 19,586千円 指定管理委託料 16,186千円 需用費 2,700千円 その他 700千円 ・延べ利用者数：12,156人 ・令和6年度決算額内訳 合計 18,398千円 指定管理委託料 16,186千円 需用費 1,837千円 その他 375千円 ・延べ利用者数：12,726人 ・令和7年度決算額内訳 合計 17,051千円 指定管理委託料 17,048千円 役務費 3千円 ・延べ利用者数：15,332人		決算額 (千円)	19,586	18,398	17,051	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		令和2年度より指定管理者制度を導入したが、当初はコロナ禍により休館を余儀なくされる等利用者数の増加に伸び悩んだ。しかしながら民間のノウハウを活用した多彩な講座を開催するなどし、令和4年度以降は市直営時を上回る結果となり、利用者数が年々増加し、令和7年度の延べ利用者数はコロナ前の平成30年度比5,654人増となった。今後も、施設の認知度を上げる更なる取組を実施し、広域的な利用者数の増加に努める。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和7年度
--------	-------

施策コード	311	施策	生きがいくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

5	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いきいの間管理事業			
事業概要							
高齢者いきいの間管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和7年度利用状況は令和6年度から増加した。 ・令和5年度 ・35館合計の利用人数42,966人（1館当たり1,228人） ・35館合計の稼働日数4,479日 （1館当たり128日、1日に10人利用） ・令和6年度 ・35館合計の利用人数48,824人（1館当たり1,394人） ・35館合計の稼働日数4,926日 （1館当たり140日、1日に10人利用） ・令和7年度 ・35館合計の利用人数52,007人（1館当たり1,485人） ・35館合計の稼働日数5,156日 （1館当たり147日、1日に10人利用）			決算額 （千円）	5,651	15,093	16,520	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	55.6	49.8	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			維持管理については、施設の経年劣化が 激しく、適宜修繕を行っており、修繕等 の維持管理費が一定額必要となってい る。 また、施設は和室や段差が多く、バリア フリーの観点から、大規模修繕や建て替 え時に、洋室化や段差解消等を実施する 必要がある。				
							継続

6	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい活動センター管理事業			
事業概要							
高齢者生きがい活動センター管理（指定管理者施設管理）							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者の相互交流と教養向上を促進するとともに、生きがいづくりの拠点として設置している当該施設の管理運営を、指定管理者制度により実施。 ・令和5年度決算額内訳 合計 13,478千円 指定管理委託料 13,010千円 通信運搬費 384千円 報酬 84千円 ・延べ利用者数：45,673人 ・令和6年度決算額内訳 合計 13,580千円 指定管理委託料 13,411千円 通信運搬費 169千円 ・延べ利用者数：46,421人 ・令和7年度決算額内訳 合計 13,622千円 指定管理委託料 13,411千円 通信運搬費 169千円 報酬 42千円 ・延べ利用者数：49,532人			決算額 （千円）	13,478	13,580	13,622	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			第9期吹田健やか年輪プランでは、令和7年度の高齢者生きがい活動センターの利用者目標数を51,601人としていたが、実際の利用者数は49,532人であり、目標に達していない。 引き続き講座内容や広報の見直し等を実施し、利用者数の増加に努める。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	311	施策	生きがいくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

7	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい対策事業			
事業概要							
高齢クラブ活動補助、高齢者友愛訪問、在日外国人高齢者給付金支給、いきがい教室開催、高齢者関係団体用福祉バス貸付							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 高齢者関係団体用福祉バス貸付 対象となる高齢者関係団体に対して福祉バスの貸付を行った。 貸付台数：129台 利用者数：5,220人 (2) 高齢クラブ活動補助金 高齢クラブ数156クラブ、会員数8,763人に対して、高齢クラブ会員数50人以上のクラブに年額57,600円、30人以上49人以下のクラブに34,560円、吹田市高齢クラブ連合会に1,024,170円を交付した。 (3) 高齢者友愛訪問 寝たきり又はひとり暮らしで適切な助言や連絡を必要とする75歳以上の高齢者、適切な助言や連絡を必要とする75歳以上の高齢者世帯、及び65歳から74歳までの寝たきりやひとり暮らしで声かけや見守りが必要な高齢者を訪問・激励する事業を受託した吹田市高齢クラブ連合会に対して、6,149,880円の委託料を支払った。訪問対象件数：寝たきり高齢者7人、独居高齢者2,496人、高齢者世帯904世帯、その他14人で合計3,421件 (4) いきがい教室開催 60歳以上の者を対象に1回2時間程度の教養講座を19科目開催し、高齢者の生きがいづくりの充実を支援した。延べ受講者数：5,986人 (5) 在日外国人高齢者給付金支給 大正15年4月1日以前生まれの支給対象者に対して月額1万円を支給した。支給対象者：1名			決算額 (千円)	34,238	44,652	44,478	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	86.1	89.6	90.1	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				継続		高齢クラブ活動について、会員の加入増加を促す補助金を検討	
(2) 高齢者の地縁組織である高齢クラブは超高齢社会の地域のコミュニティ・見守り隊、外出支援の担い手、介護予防の推進活動隊として、果たす役割は重要である一方、近年会員数とクラブ数が減少傾向にある。 (3) 今後、高齢者人口に比例し訪問対象者数の増加も見込まれる一方、高齢クラブの会員数が減少している上、会員の高齢化が進んでいることから担い手の不足が懸念される。							

8	所管 室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（高齢者生きがい活動センター）			
事業概要							
千里ニュータウンプラザ施設管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
高齢者生きがい活動センターを有する千里ニュータウンプラザの施設管理。 ・令和5年度決算額内訳 合計 32,690千円 管理運営に係るサービス購入料（設計建設） 19,564千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理） 10,351千円 管理運営に係るサービス購入料（修繕） 577千円 光熱水費 2,198千円 ・令和6年度決算額内訳 合計 31,925千円 管理運営に係るサービス購入料（設計建設） 19,285千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理） 10,496千円 管理運営に係るサービス購入料（修繕） 8千円 光熱水費 2,136千円 ・令和7年度決算額内訳 合計 33,481千円 管理運営に係るサービス購入料（設計建設） 19,011千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理） 10,495千円 管理運営に係るサービス購入料（修繕） 1,852千円 光熱水費 2,123千円			決算額 （千円）	32,690	31,925	33,481	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	100.0	100.0	100.0	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			特になし				
				継続			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	311	施策	生きがいづくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

9	所管 室課	高齢福祉室	事業名	吹一地区高齢者いこいの間整備事業				
事業概要								
吹一地区高齢者いこいの間整備								
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点	
吹一地区高齢者いこいの間と複合化するための吹一地区公民館建築工事。 ・令和7年度決算額内訳 合計18,563千円 委託料 2,137千円 工事請負費 16,426千円			決算額 (千円)	0	0	18,563	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	25.1	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容	
							廃止	

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名